

TOPICS

繊維リサイクル研究会の発足

—繊維廃棄物の再資源化に向けた技術とネットワーク—

繊維生活部 神谷 淳 (かみたに じゅん)

kamitani@irii.jp

専門：繊維物性、有機化学

一言：工業試験場の利用をお待ちしております。



近年、循環型社会への転換が急務となり、繊維業界ではCO₂排出量削減や水資源の大量消費抑制、衣料品の大量廃棄問題など、環境負荷低減への取り組みが求められています。経済産業省の「繊維技術ロードマップ」(2022年)では、繊維 to 繊維リサイクル技術の推進が明記され、持続可能な製造プロセスの確立が重要課題です。さらに県内繊維業でもSDGsやリサイクルへの関心が高まり、環境負荷低減に向けた技術や取り組みを模索する動きが広がっています。

こうした状況を踏まえ、工業試験場では本年度から、製造工程で発生する繊維廃棄物のリサイクル技術に関する研究に取り組んでいます(図)。この度、本研究に関するリサイクル技術の共同開発や、さらには広く繊維リサイ

クルに関する情報の収集と発信を目的として、「繊維リサイクル研究会」を発足しました。11月7日には第1回研究会を工業試験場で開催し、10社を超える繊維関連企業や団体にご参加いただきました。今後も多様な技術事例を紹介し、技術者同士の交流を通じて新たなアイデアや連携を生み出す場を提供します。また、他機関との連携や試験場設備を活用した実習や講習も含め、年に2～3回の開催を予定しています。

繊維リサイクルに関心のある方は、ぜひ研究会にご参加ください。

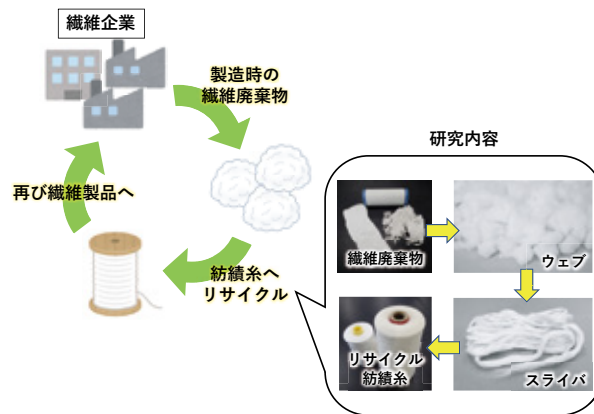


図 工業試験場で取り組んでいる繊維リサイクル技術